

VS テドンFC 0-4 ×

選手氏名	POS	背番号
竹中 湊祐	GK	1
谷 信二郎	FP	2
漆畑 悠斗	FP	3
五十嵐 泰生	FP	4
山口 蒼太郎	FP	5
甲賀 蓮一郎	FP	6
萩原 憲人	FP	7
青島 吉平	FP	8
海野 幹太	FP	9
榊原 快人	FP	10
村松 按待	GK	16

1本目 0-1

萩原	漆畑	海野
	青島	
	榊原	
山口		五十嵐
竹中		

2本目 0-2

萩原 (榊原)	漆畑	谷
	甲賀	
	青島	
山口		五十嵐
村松		

7月14日 9:00KO 25分×2 20分×1

1分 縦パスをワンタッチで背後取られて 0-1

8分 個のスピードで単独突破 0-2

10分 ペナ右から中に運ばれミドル 0-3

18分 ドリブル突破 ついてけない 0-4

0-4 敗戦

Total:1勝1分2敗

3本目 (20分) 0-1

萩原	漆畑	(谷)	海野
	甲賀	(漆畑)	
	榊原		
青島		山口	
		(五十嵐)	
村松		(竹中)	

最後の試合も開始早々に失点。この失点後は守備を集中できた。カバー。立ち位置。奪い方。を選手が徹底して、疲れもあったが、非常にインテンシティの高い中身のあるゲームとなった。その為か、テドンFCの監督より追加に20分増やして欲しいと要求された。過去にこちらが勝っていて、追加はあったが、負けている状況で追加されたのは初である。それが評価ではないだろうか。シュートチャンスも作れた。球際で戦うこともできた。ただ、最後まで持つ体力がない。足が止まったり、一人が隙を見せるとそこをとことん突かれる。そういうトータルでサッカーを考えていくことも今後は彼らの課題である。テドンのように、能力がある相手。体、速さ、技術。静岡の子たちは、ボールタッチの柔らかさ、センスは勝っている。しかし、サッカーというスポーツは走ること、戦うことがベースである。いくらいいテクニックを持っていても強度のある中で発揮できないと意味がない。大きい相手にどう戦うか？大変勉強になった。また体が小さいから戦えないということも覆す場面もたくさん見れた。ひたむきに戦う姿は見ていて感動させられる。負けはしたが、選手の中には「楽しい」と表現する選手もいて、この強度のゲームを楽しいと感じてくれて、今後の練習での強度と質があれば今後の彼らの成長には期待できる。テドンとの試合はいつも子どもたちに刺激を与えてくれる。